

びわこ成蹊スポーツ大学	2	1	前半	0	0	大阪産業大学
		1	後半	0		
31分	2 藤井 嵐(6 高見 柗真)		得点(アシスト)			
68分	11 泉 柗椰					

勝利した方が総理大臣杯への切符を手にする重要な一戦。3大会連続出場を目指すびわこ大と初出場を目指す大産大の試合は万博記念競技場にて行われた。序盤は大産大がロングスローを使いながら積極的に相手ゴールを狙う。対するびわこ大は組織的な守備で相手の自由にはやらせず、徐々にボールを保持する時間を増やすと相手ゴールへと迫る時間が増えていく。すると31分、右サイドでびわこ大MF6,高見からボールを受けたDF2,藤井が遠めの位置から左足を振り抜くと、ボールは綺麗な放物線を描きながらゴールへと吸い込まれ、先制に成功。1点ビハインドとなった大産大は43分、CKからゴールネットを揺らす、タッチラインを割っていたという判定でゴールとはならず、0-1で前半を折り返す。後半に入り、大産大はDF2,三輪を投入し、流れを変えようとする。しかし68分、CKからびわこ大MF11,泉がゴールを決め、大産大を突き放す。まずは1点を返したい大産大は81分、右サイドからのふわりとしたクロスにFW10,赤塚がオーバーヘッドで合わせるが、惜しくも枠の外。その後も大産大はゴールを狙うが、なかなかシュートチャンスを作ることはできず、0-2で試合終了のホイッスル。関西学生リーグでも強さを見せているびわこ大が貫禄の勝利で総理大臣杯への切符を手にした。



Reported by 有田俊輔

関西大学	1	1	前半	0	0	京都産業大学
		0	後半	0		
13分	9 西村 真祈		得点(アシスト)			

総理大臣杯出場の切符をかけた関西大と京産大の一戦。関西大は13分にPKを獲得すると、それをFW9,西村がしっかりと決め、試合開始早々に先制点をあげる。いい形でスタートを切った関西大は狭いスペースで足元の技術を見せ、パスを回しながら流れを作っていく。対する京産大は26分、MF10,食野がふわりと浮かしたスルーパスをMF8,中野が足を振りぬぎシュートを放つが、ゴールとはならない。その後京産大は、関西大の強度の高い守備に苦しみ、耐える時間帯が続く。前半のうちに追加点の欲しい関西大は39分、FKからチャンスをつくり、幾度もシュートを放つが、京産大DFの身を投げ出したブロックによって阻止され、1-0で前半を終える。後半に入り、京産大はMF7,福井を投入し、流れを変える。右サイドハーフに入った福井は、味方の経由地点に上手くポジションを取りながら、少ないタッチ数で攻撃を組み立てていく。対する関西大は前半に比べ疲労が見える。守備の出足が遅れてしまい、京産大が自由にボールを保持する。それでも関西大は前線からの守備を徹底し続け、チャンスを作る。一方の京産大も右サイドを起点に猛攻を試みるが、最後までゴールとはならず。0-1で試合終了。炎天下のなか白熱した試合は関西大に軍配が上がった。



Reported by 鹿島嘉月

第51回 関西学生サッカー選手権大会 準々決勝

2022.7.10(日) 11:00kickoff 万博記念競技場

関西福祉大学		2	1	前半	0	1	桃山学院大学
			1	後半	1		
16分	10 奥村 仁(3 小西 祐汰)		得点(アシスト)			66分	2 奥田 勇斗(38 東 隆志)
62分	2 大西 健太						

総理大臣杯出場の切符を掴むために、負けられない一戦となった準々決勝は去年の決勝のカードとなり、万博記念競技場にて行われた。夏の蒸し暑い気候の中キックオフした試合は序盤から動く。16分、関福大MF3、小西のパスを上手く受け取ったFW10、奥村が冷静に流し込み、先制に成功する。エースの得点で活気づいた関福大は攻撃の手を緩めず、テンポ良くボールを繋ぎながら桃山大ゴールに迫る。対する桃山大は、集中した守備で追加点を許さない。徐々に攻撃のテンポが出てきた桃山大は、DF2、奥田を中心に反撃に出る。前半は両チーム拮抗した展開が続くも、後半に入ると桃山大がボールを支配する時間が増える。桃山大の攻撃を凌いだ関福大は、一瞬の隙をついたDF2、大西が待望の追加点をあげる。その直後、桃山大は交代出場の1年生、MF38、李が奥田へアシストし、1点差に迫る。その後は桃山大の厚みのある攻撃に対して関福大が鋭いカウンターを仕掛ける手に汗握る試合展開となった。終了間際の猛攻に耐えた関福大が2-1で勝利。昨年の決勝の雪辱を果たし、2年連続で全国への挑戦権を手にした。



Reported by 納富太一

2022.7.10(日) 13:40kickoff 万博記念競技場

関西学院大学		0	0	前半	1	2	大阪学院大学
			0	後半	1		
		得点(アシスト)			16分	10 國分 龍司	

7月も中旬に差し掛かり、本格的な夏の到来を前に、正午を過ぎても気温はぐんぐんと上昇したため、選手にとっては体力面で難しいコンディションでの開催となった。昨年度リーグ戦を制した関学大に対するは大院大。4回戦を両チーム共に危なげなく勝利し、総理大臣杯への切符を目指す。大院大は、勝利した4回戦の勢いそのままに試合に入ることができ、先制点を奪う。16分、大院大FW8、澤崎が左サイドから入れたボールをFW10、國分がファーサイドで合わせてワンチャンスをものにした。対する関学大は、ボールを保持しながら大院大ゴールへ迫るも、大院大GK21、梅田が再三スーパーセーブを見せ、大院大がリードした状態で前半を折り返す。後半は、終始関学大がボールを握り、なんとか追いつこうと猛攻を仕掛けるが、大院大守備陣が体を張ったディフェンスを見せ、ゴールを死守する。すると77分、大院大が試合を決定づける追加点を挙げる。高くなっていた関学大DFラインの裏をついたFW126、北田が値千金の2点目を奪い、2-0で試合終了。大院大が3大会ぶり5回目となる総理大臣杯への切符を手にした。



Reported by 田中陽大